平成１４年度採択分
平成１９年３月３１日現在

寺院経蔵の構成と伝承に関する実証的研究
―高山寺の場合を例として―
Positive Research in Regard to the Transmission and Makeup of Buddhist Scripture Collections-The Case of Kôzanji-

石塚　晴通（ISHIZUKA Harumichi）
北海道大学・名誉教授

研究の概要　　本研究は、時代を超えた有機性を持つ寺院経蔵の実証的研究のモデルケースとして、既に代表者・分担者らが協力して多年の調査を進め成果を得てきた高山寺（京都市）経蔵を取り上げ、寺院経蔵の構成と伝承についての全体像を初めて実証的に明らかにする事を目的とする。

研究分野／科研費の分科・細目／キーワード
部：文学、分科：文学、細目：国語学・日本語学
キーワード：高山寺、寺院経蔵、高山寺旧蔵本、国際研究者交流、仏教文献

１．研究開始当初の背景・動機
よく保存された寺院経蔵の文献類には諸学諸芸の相互連関の活動を示唆する資料が豊富な事は従来から知られてきたが、その文献類は多岐・多時代に亘り、その活動と発展の十全な理解は、経蔵の構成と伝承を考慮して捉えない限り不可能であった。高山寺経蔵を取り上げてその全体を初めて明らかにするものである。

２．研究の目的
高山寺経蔵本（現存経蔵本及び旧蔵本）のデータベース化によって、
（１）当時の諸学・諸芸の形作る相互依存関係
（２）中世から現代に至る伝承（含散佚）
を実証的に追跡調査して経蔵の全体像を解明し寺院経蔵論のモデルケースとする。

３．研究の方法
（１）高山寺経蔵の現地調査によって、現存本相互の関係を明らかにする。
（２）国内外の高山寺旧蔵本の発掘につとめ、原本調査をする。
（３）高山寺経蔵現存本及び旧蔵本のデータベースを構築する。
（４）高山寺資料叢書の刊行に協力する。
（５）研究討論・報告会を開催する。
（６）国際会議、学会等で研究成果を発表する。
（７）研究に資するために高山寺旧蔵本等を購入して研究に資する。

４．研究の主な成果

（１）高山寺における現地調査の原本照合によって、相当数の現存本と鎌倉時代以来の古目録との対応が明かになった。

（２）高山寺経蔵における現地調査の原本照合によって、既刊目録の相当数の題未詳本の題名が明かになった。高山寺資料叢書（平成20年刊行予定）の目録補訂に所収。

（３）既刊目録類のデータベース化により、現存本相互の関係の考察に多大な便宜が得られ、高山寺経蔵における現地調査の原本照合によって、相当数の僚巻・表紙等が判明し、書写伝承等の相互関係が明かになった。高山寺経蔵は、鎌倉時代から現代に至る経蔵所収の典籍文書の目録類が揃っている殆ど唯一のケースであり、そのデータベース化は高山寺経蔵の構成と伝承を明かにすることを初めとして、種々の研究分野の基礎資料を提供するものである。

（４）高山寺旧蔵本の調査を、国内外に於いて組織的に進め、140 点以上の原本調査を実施し、500 点以上の引用を確認した。それらの内、相当数の古目録との対応が明かになった。特に明治初期に高山寺旧蔵本を含む多大な日本典籍を中国に将来した楊守敬旧蔵本の内、楊守敬の孫柳先梅に伝えられ文化大革命期に湖北省博物館に寄贈された日本典籍文書の全点カラー写真入解題目録の刊行に資したことは特記に値する。

〔４．研究の主な成果（続き）〕

（５）高山寺経蔵本は質的に高く、各時代の標準的写本・刊本を含むので、漢字字体規範データベースを作成する上で、有力な基本資料を構成している。現在公開している漢字字体規範データベース（HNG）所収48資料の内、7資料が高山寺現蔵及び旧蔵本である。

（６）高山寺経蔵本は天下の孤本・最古の写本等を少からず含み、種々の研究分野の重要資料となるものが多く、その一方で虫損等の損傷が甚しいものも多い現状に鑑み、研究の便宜と原本の保護とを考慮して典籍文書の全文画像データベース化に鋭意努めた。

（７）平成 14 年度、平成 16 年度、平成18年度に研究討論・報告のための国際会議を開催した。

（８）古目録記載の高山寺旧蔵本の原本（『大師伝法灌頂』平安後期写本）等を購入することを得て、研究の遂行の上で多大な便宜が得られた。

５．得られた成果の世界・日本における位置づけとインパクト

寺院経蔵の有機的把握研究は、多年の研究に基いて研究代表者・分担者らが近年主張し始めたもので、緒についたばかりである。経蔵本全体を旧蔵本も含めて綜合データベース化したものは、他には例がない。

６．主な発表論文

（研究代表者は太字、研究分担者には下線）

石塚晴通　「湖北省博物館蔵日本巻子本目録」（『平成十八年度高山寺典籍文書綜合調査団報告論集』、2007 年）

池田証壽「高山寺藏新譯華嚴經音義和宮内聽書陵部藏宋版華嚴經」（『敦煌學・日本學』上海辞書出版社、2005 年）

石塚晴通・池田証壽・徳永良次「上海図書館蔵高山寺旧蔵本」（『平成十五年度高山寺典籍文書綜合調査団研究報告論集』、pp.63-72、2004 年）

築島裕・沼本克明「胎藏界自行次第」（『高山寺古訓點資料第四』東京大学出版会、2003 年）

石塚晴通「中国に伝存する日本古写仏典―高山寺旧蔵本を中心として―」（『中国に伝存の日本関係典籍と文化財』国際日本文化研究センター、2002 年）

ホームページ等

http:// www.lit.let.hokudai.ac.jp/kozanji/